

地理学に興味があったので、文学部史学科で地理学を専攻。最初から進学希望だったので、大学院に進んだのですが、若かったこともあり、ちょっと天狗になっていました。修士2年の時に柳井雅也先生（現・東北学院大学教授）に出会ったことでその意識が一変。私と5歳しか離れていないのに、非常にレベルが高くて、鼻をへし折られました。修士論文の指導も受けたのですが、求められたのは自立・主体性、相対化。すなわち、自分で見て、考えて、行動すること。しかし、何をどうすればよいかわからない。まず自分を相対化しようと、ふらっとオーストラリアへ旅立ち、一ヶ月間放浪しました。露骨な人種差別にあつたり、外国人と話して日本人の甘さを痛感したりと、いろんな体験をし、自立・主体性、相対化の感覚が少しかわかって、帰国しました。この経験は、今でも私の生き方を貫く信念の源となっています。そういう意味で、岡大は私の原点です。

岡大卒は財産

産業集積などを研究する経済地理学を学んでいたのですが、卒業後はシンクタンクの연구원として、自治体の産業政策立案などを行いました。あるとき、某県の産業振興ビジョン立案を受注したのですが、組織体制の不備からクライアントに迷惑をかけてしまい、あわや契約打ち切りか、という事態に。たまたまクライアント側の担当次長が岡大卒で、彼のおかげでその時はなんとか首がつながりました。（笑）

そのほかにも母校のつながりに助けられ



岡大異ベンチャー人紹介

堂野 智史さん

メビック扇町 所長 チーフコーディネータ

関西の産学官民連携コミュニティとして注目される関西ネットワークシステム (KNS)。設立者のひとりで、現在、クリエイティブ分野の事業者を支援する「メビック扇町」所長として活躍する堂野智史さんに、学生時代の思い出とKNSにかける思いについてうかがいました。

▶堂野 智史 (どうの さとし)

- 大阪府交野市出身
- 1962 (昭和37) 年 生まれ
- 1989 (平成元) 年 岡山大学大学院文学研究科修士課程修了シンクタンクに就職
- 2003 (平成15) 年 財団法人大阪市都市型産業振興センター扇町インキュベーションプラザ (愛称: メビック扇町) 所長兼インキュベーションマネジャー就任産学官民コミュニティ「関西ネットワークシステム (KNS)」を設立
- 2010 (平成22) 年 扇町インキュベーションプラザが移転・改称した「クリエイティブネットワークセンター大阪 (仮称) 開設準備室」(愛称はメビック扇町のまま) の所長・チーフコーディネータに就任

育成功績は「主体性」
 2003年、ベンチャー企業が入居し、支援を受けるインキュベータ施設「メビック扇町」の所長にならなかつたという申し出を受け、研究員として考えてきたことを現場で実践してみたと思つていました。引き受けました。

メビック扇町はデザイナーや写真家などクリエイターの多い地域にあり、彼らに対して経営のアドバイスをしたり、成果を発表するイベントを開催し、切磋琢磨させるなどして成長をサポートしてきました。その方針は「自立・主体性を磨く」こと。私が岡大で経験したように、自ら考え、行動することを求

めて接してきました。そのため、時には厳しく言う場面もしばしば。しかし、それはインキュベータ(孵化器)から一刻も早く巣立つて、自立して欲しいとの一心からでした。
ネットワークを広げたい

1998年、ひよんなことから産学官民の連携で地域活性化を目指す岩手ネットワークシステム(INS)に出会いました。そこでは、職業や役職に関係なくフラットに交流するコミュニティが形成されていて、衝撃を受けました。触発され、2003年、大阪でKNSを立ち上げました。産学官民のメンバーが相互にコミュニケーションを深め、信頼関係を築くことを目的に、定例会や交流会を頻繁に行っています。現在のメンバーは約260人。彼らがKNSで培ったネットワークを活用し、ビジネス・共同研究などさまざまなシーンで活躍することを期待しています。

今年9月、INSやKNSが、所属する産学官民コミュニティの全国大会を、岡大の協力で津島キャンパスで開催。全国各地から多くの方にご来場いただき、大いに盛り上がりました。今後この活動を続け、ネットワークを広げて、みんなが元気に仕事できるようにしたいですね。

主体性を養って

現在、ある大学で非常勤講師をしています。就職活動でも「この会社でこれがしたい。そのためにこう行動する」と、自分のやりたいことや思いを伝えることができる人が成功しています。私が経験したように、学生のうちに、自ら見て、考え、行動する自立・主体性の感覚を養って欲しいと思います。